

傍聴席

9月議会を傍聴して

南黒田 コンタ

去る8月、町議会選挙が行われ現職12名と新人4名が当選された。特に注目されたのは32年間不在であった女性議員の誕生であり、町にとつては新時代の到来であり、更なる発展にだれしも大きな期待を寄せております。

この度は、改選後最初の意義ある議会であり、一般質問を傍聴させていただきまし。質問者は7名で、その内3名が新人議員でありました。

議場内は厳肅で緊張すら感じる雰囲気ながら、果たして新人議員は大丈夫かなと思つていましたところが、先輩議員に負けじとばかり力強い声で、堂々と質問を行ったその姿に接し、初めて挑戦した意欲とその勇氣に大きな感動を与えてくれました。

私達が支持した議員が、初議会で堂々と発言している姿を、もつと多くの方達に見てほしかったなと、さなきに堪えない思いでありました。

質疑の内容について少しふれさせていただきます。まず

11月の町長選挙の問題、商業振興のため都市計画を、黒田海岸の護岸工事、県道の危険箇所信号の設置、土川等排水や用水路に蓋等の改善、環境問題には小・中学校のシックハウス、河川の水質浄化を、障害者自立支援作業所の新設や、放置農地の雑草処理を、合併後職員的身分保障など、日々生活に密着した質問に対し、町長をはじめ理事者は誠実に答弁され、両者ともに真剣に取り組まれており、感銘致しました。

こうした多くの質疑のなかで特に合併問題があります。現在、伊予地区合併協議会は推進されており、開催された協議会の内容は、全戸配布されており読んでおりますが、前途に多くの難問があり町長をはじめ代表者の皆様に変化ご苦労をおかけしております。今後新市将来構想の柱である福祉・教育・安全・活力等について協議されます。代表者におまかせではなく、みんなで支え合い安心して暮らせる新市の実現をと、思いを深くした次第であります。

町民の声

その後が知りたい

M・H

カラー表紙の立派な議会日より、まつかぜ”を毎回ののしみに見えています。勿論内容も読んでいますが一番最初に目につく表紙の写真、誰が撮ったのだろうか。議会だよりだから議員さんの誰かが撮ったものだろうと思つていま

それはさておき、この議会だよりによつて町行政の事や議会の活動状況が良く分かりとても参考になっていますが前回の傍聴席欄で書かれていました。議会が4年間で1度も質問されていない議員さんが数人いたとは、とても残念に思います。

新議員さんたち町民を代表して議会で大いに代弁をふる

つていただきたいと思ひます。過去の一般質問の答弁の中で、検討して行く、要望して行く、協議して対処しますと言ふ答弁がなされていますが、これらの検討・要望・協議対処がいつ、どこで、どのようになされたかが知りたいのです。理事者側の答弁です。ウヤムヤにしていることは無いと確信していますので今後このような答弁がなされた時は翌号にてその内容を、まつかぜ”に載せて頂きたいので、よろしくお願ひいたします。

意見書

北朝鮮における拉致問題の早期解決のため経済制裁も含めた外交努力を求める意見書

北朝鮮による拉致問題の早期解決を求め、意見書を採択して国に提出しました。我が国の主権を侵害した国家犯罪である日本人拉致事件に対して、昨年9月北朝鮮は日朝首脳会談でその事実を認めて謝罪したにもかかわらず、その後全く誠意ある対応を行っていない。こうした北朝鮮の行為は、拉致被害者及び家族の意向を全く無視した人道に反する犯罪であり、国際社会においても対話と圧力による平和的解

決を図る外交努力が支持されている。この際我が国がこの問題に対し、これまで以上に積極的な措置を講ずることは法治国家として喫緊の課題である。

よつて政府は、拉致問題の早期解決を図るため、北朝鮮に対する経済制裁も含む、外交努力に全力を傾注されるよう強く要望する。

【提出先】

内閣総理大臣

総務大臣

外務大臣